



Title	日米関係（沖縄返還）41( イタリア   外務省外交史料館レファレンス番号：H230050 )
Author(s)	-
Citation	平成23年度外交記録公開(1)No.1   公開日：平成23年12月22日   外務省外交史料館管理番号：2011-0703   CD・DVD番号：H23-001
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43837">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43837</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

イ  
タ  
リ  
ア

- 万 億
- 大政事外儀官
- 典房
- 次官
- 審長
- 長官
- 文書
- 官給
- 人電厚計
- 参閣析企
- 参領旅移
- 参地中東
- 参北西
- 参北保
- 参一
- 参西東洋
- 参西東
- 参書近ア
- 次総経国万
- 参資統
- 参政技二
- 参一理
- 参条協規
- 参政経科
- 参社專
- 参道内外
- 参長文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

92

電信写

総番号(TA) 53820 主管  
 69年 月 27日 20時 37分 17リッ 発着 米地1  
 69年 月 28日 05時 27分 本省 着

外務大臣殿 高野 大使 臨時代理大使 総領事 代理

サトウ首相訪米に関するイ紙報道ぶり

第915号 平

今次のサトウ首相訪米に関し、当地各紙は今日までのところ、訪米反対デモ及び両国首のう会談の様相に関する事実報道ならびにオキナワにおける米軍基地の解説に止まり、右記事の中で今やオキナワがいかにして返かんされるか、すなわち米軍基地と核ちよ蔵をいかにして解決すべきかの問題が残ると指摘しているほかは、特に論評はみられない。

雲畑公信。

(3)

注意(部の内号)

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

297

電信写

総番号(TA) 30862 主管  
 71年 6月 18日 21時 30分 17リッ 発着 米地1  
 71年 6月 19日 08時 50分 本省 着

外務大臣殿 高野 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん協定署名(報道・論評)

第386号 平

1. 当地各紙は今次条約署名に関する東京及びワシントン電をかなり大きく掲げるとともに、署名当日、本土各地及びオキナワで起つた反対デモの状況を報じている。

2. イル・テンボ紙(18日付)論評

今次条約締結の意義と太平洋地域の政治軍事情勢に及ぼす影響について、第1に指摘すべきことは、この協定によりオキナワの核基地が通常の軍事基地に変わり、その使用につき日本側と協議する義務が生ずると同時に、基地の大はばな縮減を約していることである。これは米の太平洋地域における軍事活動のぜん減を意味し、ひいてはアジア諸国にとつては自力によつて独立を守り、かつ共産勢力の侵襲を防ぐ任務を負うことを意味し、日本は第一線にたつてこの自主的役割を果たすであろう。第2には、ベトナムにおける米の軍事活動がぜん減すれば、オキナワ基地使用の必要性も減ってくることである。第3には、米としてはオキナワ返かんによつて中共に対する軍事的きょういを取除き

- 大政事外儀官
- 典房
- 次官
- 審長
- 長官
- 文書
- 官給
- 人電厚計
- 参企折調
- 参領旅移
- 参地中東
- 参北西
- 参北保
- 参一
- 参西東洋
- 参西東
- 参書近ア
- 次総経国万
- 参資統
- 参政技二
- 参一理
- 参条協規
- 参政経科
- 参社專
- 参道内外
- 参長文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

、対中共ふうじ込めの政策から話合いの政策に転換する意図を立証したことである。この新情勢においてアジア及び国際政治における日本の態勢が益々強化、活発化することは当然予想され、この意味において、さきに発表された日本国てん皇のヨーロッパ御訪問は特別の意義がある。ただ日本にとって残るゆいーの問題は北方領土の問題であるが、日本は今次条約の締結により、対ソ領土返かん要求のため一層強こうな態度をとることは疑いない。

(了)